

平成30年度決算を認定

9月定例会では、平成30年度決算案件（一般会計、特別会計、企業会計）9件が提案されました。一般会計は、予算決算常任委員会（全体会・総務分科会・建設経済厚生分科会）、特別会計と企業会計は建設経済厚生常任委員会において、3日間にわたり慎重審議を行い、原案のとおり認定しました。

一般会計の決算額は、歳入190億9,629万3,037円、歳出187億770万5,670円、翌年度への繰り越し6,036万4,000円を差し引いた実質収支額は3億2,822万3,367円の黒字となっています。

予算決算常任委員会 (総務分科会・建設経済厚生分科会)

一般会計の平成30年度決算認定と令和元年度補正予算案は予算決算常任委員会に付託した後、全体会で、総務、建設経済厚生各分科会へ所管する事項を分担し審議を行いました。主な審議内容は以下のとおりです（○印は要望、意見）。（補正予算案の審議は8ページに掲載）

一般会計

市税

問 滞納者に対して、差押することより啓発に取り組みほうが大事ではないか。

答 啓発も大事と考えますが、実際に財産がある方については、差押も滞納解消に向けての方法であり、両方のバランスをとりながら進めていきたいと考えます。

- 滞納者の生活実態等を調査し、困窮度の高い者についての対応を、検討していただきたい。
- 差押をして換価をする場合、換価の猶予等の制度もあるので、生活や暮らしに配慮した対応をお願いしたい。

若者応援

- 都市と地域の若者交流拠点づくり事業について、若い人たちが継続して活動でき輝けるような場はとて大切なので、引き続き協力していただきたい。

福祉

- 社会福祉協議会の事業運営または組織の継続性という観点から、事業の精査、見直しの検討が必要と考える。

ふるさと納税

問 ふるさと納税をふやしていく方策は。

答 地方創生推進交付金による3か年の事業を実施しており、地場産品の開発、PR、今年度はサイトやカタログに掲載する写真の撮影を実施しました。また、返礼品を提供する事業者が、さらに積極的な取り組みができるように、キャッチコピーのつけ方の勉強会等、事業者の発掘も含め、交付金を活用して返礼品の新たな支援を検討していきたいと考えます。

- 良質な空き家、自然、農地、鶉野飛行場跡地等、加西の財産を活用し、加西市に来てもらえるような返礼品を増やしていくよう、取り組んでいただきたい。

空き家対策

- 空き家がふえて管理ができなくなる前に、空き家対策専門家協議会を通し、空き家の活用を図ることができる流れをつくっていただきたい。

都市整備

- 市道、県道問わず、通行に支障を来すような草が伸びている状況が見受けられる。草刈り等について、地域へ協力をお願いするなど、安全に通行できるようにしていただきたい。

教育

問 不登校の状況について。

答 初期対応として、できるだけ学校に戻れるように、原因や障壁を取り除いていこうと取り組んでいます。昨今の傾向として、ゲーム障害が問題となっています。また、中1ギャップの解消の取り組みや、スクールソーシャルワーカーの活用、福祉との横断的な連携も図りながら、不登校になりかけのところを、できるだけ深みにはまらないように支援していきたいと考えています。

- 不登校問題について、現場の先生、スクールソーシャルワーカー、福祉等、横断的に取り組んでいただければお願いしたい。
- 月1回の定例教育委員会は非常に重要な討論の機会であるので、議題が少ない月については協議する議題を設けるなど、機会が無駄にならないよう検討していただきたい。

職場環境

- 若い職員の思いがしっかりと発揮できるような職場環境づくりに努めていただきたい。